



まずは準備運動。肩甲骨を広げるように腕を伸ばします



万年橋を通過。晴天に恵まれ絶好の"歩け日和"です



湯地の丘から散策路を抜けて展望台を目指します



展望台に無事到着、眺めは最高でした！



# 第49回くりやま歩けあるけ運動

## 爽やかな汗を流しながら

くりやま歩けあるけ運動（町教育委員会、健康づくり推進協議会共催）が5月26日に行われ、町内の3歳から84歳まで約60人が参加しました。開会式で森英幸教育次長が「最近車を利用することが増え、歩くことが少なくなってきました。今日は笑顔で歩くことを楽しんでください」とあいさつ。今年は猛暑のために予定していたコースを変更し、カルチャープラザ「Eki」を出発、湯地の丘を回り、散策路を通って、栗山公園展望台までの約4キロを歩きました。参加者は爽やかな汗を流しながらウォーキングを楽しみました。

### 編集担当者のひとりごと

▼ふるさと自然体験教育事業の取材でオオムラサキの飼育についての話がありました。幼虫期はエゾエノキの葉を食べ、蝶になるとハルニレの木などの樹液を餌にするため、自然環境が整っていないければオオムラサキは生息できないそうです。町がオオムラサキを大切にしていることの素晴らしさをあらためて知ることができました。（小林）  
▼児童センターの清掃活動「クリーン大作戦」の取材に行きました。カメラを向けるとピースサインをしてくれる子、積極的に取材に応じてくれる子、拾ったごみを見せてくれる子など、手伝ってくれた子どもたちには感謝です。元気に動き回る子どもたちに負けないように、取材と撮影に尽力していきます。（佐藤）  
▼5月1日に改元の日を迎え、ついに年号が「令和」になりました。昭和生まれとしましては昭和・平成・令和と3つの年号を生きてきたのだなと感慨深いものがあります。次に年号が変わる時も元気でいたいと思うので、そろそろさぼっていいジョギングなど再開しようと思っています。（越前谷）

